



HOKKAIDO
ARTS FOUNDATION

令和6年度

事業募集の ご案内

事業計画書による応募

公益財団法人 北海道文化財団

目 次

募集する事業

文化の創造活動に関する事業

まちの文化創造事業 [共催] 2

アドバイザー派遣事業 [共催] 3

鑑賞機会の拡充に関する事業

アートシアター鑑賞事業 [共催] 4

文化活動の人材育成に関する事業

こどもアート体験事業 [主催] 6

文化交流の促進に関する事業

文化交流事業 [助成] 8

応募から決定通知までの流れ

まちの文化創造事業【共催事業】

地域の皆さんが行う自主的・創造的な公演や展示等（ワークショップ等の普及活動を含む）を共催します。

対象事業

- (1) 音楽、演劇、舞踊、伝統芸能等
- (2) 美術、文芸、映像、メディア芸術（映画、漫画、アニメーション及びコンピューター等を利用した芸術）
- (3) 複数の分野にまたがる公演および展示

※ 特定の指導者一門や流派の公演、愛好者団体の会員のみによる発表、個展、普及活動を伴わない展示等は対象になりません。

※ 当年度には行わないが、将来の公演等の実施を視野に、複数年で計画された事業については対象となる場合があります。

- (例) 初年度：脚本制作、ワークショップ
 次年度：ワークショップ、小規模な発表（プレ公演）
 最終年度：本公演

事業例

【舞台公演等】

- 北海道短編エン（縁）ゲキ（劇）祭23～明日、あの子が会いに来る～
- 市民で創る創作劇～あれから10年、そしてみらいへ
- 第8回ミュージカル公演 Asahikawa 繋がりのゆく魂

【展示会、アートプロジェクト等】

- HOKKAIDO PHOTO FESTA 2023
- 有島武郎没後100年記念事業
- 第3回 朝里川 桜咲く現代アート展

対象団体

- 地域文化団体（過去3年以上継続的な活動を行っており、規約等を有する団体）
 - 市町村
 - 市町村教育委員会
 - 実行委員会
 - 公立文化施設の管理・運営団体 等
- ※複数の団体等が連携し実施する場合も対象となります。

共催負担金の額

共催負担金対象経費の2分の1以内の額

【算出例①】

収入		支出	
自己財源	50万円	対象経費	180万円
入場料 他	60万円	対象外経費	20万円
共催負担金	90万円		
合計	200万円	合計	200万円

計算式：対象経費180万円×1/2＝90万円以内の額

【算出例②】（使途が特定された助成金等がある場合）

収入		支出	
自己財源	25万円	対象経費	180万円
入場料 他	60万円	対象外経費	20万円
使途特定の助成金	50万円		
共催負担金	65万円		
合計	200万円	合計	200万円

計算式：対象経費180万円－使途特定の助成金50万円＝130万円
 130万円×1/2＝65万円以内の額

その他

- 芸術文化振興基金や文化庁等の補助・助成事業等を申請する場合は、必ず事前にお知らせください。

アドバイザー派遣事業【共催事業】

地域において自主的・創造的な文化活動に取り組んでいる団体等にアドバイザーを派遣し、専門的・実践的な指導・助言等を行います。

■ 文化企画アドバイザー

文化団体や文化施設における文化事業の企画・制作等に係る専門的な助言・情報提供を行います。
〔講演会の講師やシンポジウムのパネリスト等の業務は派遣対象になりません。〕

■ 舞台技術アドバイザー（舞台・照明・音響）

文化団体や文化施設における舞台制作の技術面やホール機能の活用等について、指導・助言を行います。

■ 舞台表現アドバイザー

文化団体や文化施設が実施している音楽、演劇、舞踊等の創作・表現面について、ワークショップ等による指導・助言を行います。

〔舞台公演における本公演の業務は、派遣対象になりません。〕

対象団体

- 地域文化団体（過去3年以上継続的な活動を行っており、規約等を有する団体）
- 市町村
- 市町村教育委員会
- 実行委員会
- 公立文化施設の管理・運営団体
- 学校（小学校、中学校、高等学校）等

経費の負担

- 財団の負担：アドバイザーに係る謝金と旅費
- 団体の負担：会場費、参加者の募集等に係る広報宣伝・印刷費等

派遣回数

- 1事業につき延べ3日又は3回を限度

謝金の基準

- 財団のアドバイザー派遣事業の謝金基準に基づき支給

旅費

- 財団の旅費規程に基づき、交通費、日当、宿泊費を支給

その他

- 参加者の負担（参加料、受講料等）は無料としてください。
- 過去に5回以上採択されている団体は対象となりません。

アートシアター鑑賞事業【共催事業】

道内外で活動するアーティストによる音楽、演劇、舞踊等の公演です。当財団が作成した「公演企画資料」の中から各市町村等が希望する公演企画や、文化財団が推薦する公演企画を共催します。

※「公演企画資料」は下記URLで閲覧できます。

P D F 版：https://haf.jp/archive_r2.html

■ 道内アーティストプログラム

「公演企画資料」に掲載の道内のアーティストによる公演

■ 道外アーティストプログラム

「公演企画資料」に掲載の道外のアーティストによる公演(ただし、2つ以上の団体が開催する場合に限る。)

■ HAFセレクトプログラム

文化財団が推薦するアーティストによる公演

対象団体

- 地域文化団体（過去3年以上継続的な活動を行っており、規約等を有する団体）
- 市町村
- 市町村教育委員会
- 実行委員会
- 公立文化施設の管理・運営団体 等

共催負担金の額

【道内アーティストプログラム】【道外アーティストプログラム】
共催負担金対象経費から入場料を除いた額の2分の1以内の額

【HAFセレクトプログラム】
共催負担金対象経費から入場料を除いた3分の2以内の額

その他

- 公演実施に際しては入場料を徴収してください。
- 芸術文化振興基金や文化庁等の補助・助成事業等を申請する場合は、必ず事前にお知らせください。

富良野塾OBユニット公演「アイ・マイ・ミー」(仮称)

富良野塾OBユニット

脚本家・倉本聰氏が主宰する、俳優と脚本家を養成する私塾「富良野塾」の卒業生で2008年に結成された演劇集団。

劇団員は、富良野塾OBユニット公演のほか、倉本聰脚本・演出の富良野GROUP公演、テレビドラマ・映画・CMなどにも出演している。

師である倉本聰氏の真髓である、「笑いあり、涙ありの人間ドラマ」づくりを目指し、また道内の演劇普及のため、毎年道内各地での巡回公演、「表現とコミュニケーション」のワークショップを行っている。

公演内容

- ・脚本・演出:太田竜介(富良野塾10期生。富良野演劇工場工場長)
- ・出演:久保隆徳、栗栖綾濃、森上千絵、東誠一郎、富由美子 他
- ・あらすじ

熟年夫婦の倦怠期。お互い、相手が離婚を切り出すのを待っている。妻の希美は「離婚してから相手を探すのでは遅い!」と、マッチングアプリを利用して新たな出会いを探し、マッチした相手とついに会うことを決意する。そして、待ち合わせ場所に行くと居たのは、夫の忠志だった。

年は取ってもいつもトキメいていたい。いや、たまにでいい。年相応の幸せを求めて、老いと感情の中でうごめく、諦めと衝動。

人生の後半戦を闘う皆さんに贈る、熟年恋愛コメディ。
……の予定なのですが、全く違うお話になる可能性があります。

公演企画団体	富良野塾OBユニット
住所	〒076-0061 富良野市中御料 富良野演劇工場
TEL	0167-22-3800
FAX	0167-22-3975
担当者	太田 竜介
ホームページ	https://www.furano-obunit.com/
上演時期	令和7年2月
公演予定額	130万円程度(オール込み)
対象ホール規模	150席~600席
出演者	6名
スタッフ	5名



※写真:「愛の書く物語」

鑑賞
アーティスト
賞事業

福原みほ~アコースティック・ソウル~

福原みほ

北海道出身のシンガーソングライター。地元札幌でのインディーズ活動、教会でのパフォーマンス等を経験し、2008年シングル「CHANGE」でメジャーデビュー。実力派シンガーの登場が大きな話題となり、アルバム「RAINBOW」もヒットを記録。

CMソングや夏フェス、近年ではミュージカル出演など、より広いリスナーへとその存在が広がりがつつある。

公演内容

昨年まで、新型コロナ禍で実現できなかった、抜群の歌唱力で観客を魅了する「福原みほ」の歌力を存分に堪能いただけるアコースティックLIVEをご提供します。

HAFセレクトプログラムとして、全国ツアーとは異なるプレミアム感を演出。北海道内の皆様にお届けいたします。

公演企画団体	株式会社音楽舎ベスト・サポート
住所	〒007-0855 札幌市東区北丘珠5条1丁目4-1
TEL	011-214-9920
FAX	011-214-1356
担当者	土谷 泰司
ホームページ	https://www.fukuharamiho.com/
上演時期	令和6年4月~12月
公演予定額	295万円程度(オール込み)
対象ホール規模	200席~1,000席
出演者	4名
スタッフ	9名



こどもアート体験事業【主催事業】

国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に出向き、子どもたちと一緒にワークショップや創作活動を行い交流する事業です。

対象団体

- 地域文化団体（過去3年以上継続的な活動を行っており、規約等を有する団体）
- 市町村
- 市町村教育委員会
- 実行委員会
- 公立文化施設の管理・運営団体
- 学校（小学校、中学校、高等学校）等

経費の負担

- 財団の負担：アーティストへの謝金、旅費及びワークショップ等に係る費用
- 団体の負担：会場費、参加者の募集等に係る広報宣伝・印刷費等

その他

- ワorkshopへの参加者の負担（参加料、受講料等）は無料とします。

派遣アーティスト

■ 北尾 亘きたお わたる（振付家・ダンサー・俳優 / Baobab主宰）

2009年ダンスカンパニー「Baobab」を旗揚げ。単独公演ほか国内外のフェスティバルに参加。振付家として、柿喰う客や木ノ下歌舞伎、口口など舞台作品のほか、NHK連続テレビ小説『半分、青い。』などTVドラマ、CM、映画にも振付を多数提供。ダンサー・俳優として、近藤良平、熊谷拓明、杉原邦生、山本卓卓などの作品に出演。ワークショップやアウトリーチ活動などを全国で展開。尚美学園大学・桜美林大学・多摩美術大学非常勤講師。トヨタコレオグラフィーアワード2012「オーディエンス賞」、横浜ダンスコレクション2018コンペティションI「ベストダンサー賞」などを受賞、ベッシー賞（ニューヨーク・ダンス&パフォーマンス賞）「OUTSTANDING PERFORMER部門」（2020年）ノミネート。



実施内容

日常の中でのストーリーや、実際に見たり触れたりしている物を題材にダンスを創作し、身体表現の楽しさを体験します。

実施条件

- 時期：要相談
- 期間：延べ3日間程度
- 対象：小学生
- 人数：10～20名程度



■ 柴 幸男 (劇作家・演出家・ままと主宰)

1982年愛知県出身。青年団演出部所属。劇場から船上まで、学芸会から工場見学まで、場所や形態を問わない演劇活動を全国各地で行う。2010年『わが星』で第54回岸田國土戯曲賞を受賞。2013年の瀬戸内国際芸術祭より小豆島での継続的な滞在制作を開始。島民や観光客を巻き込み、“その時、その場所で、その人たちとしかできない演劇”を上演する。その他にも横浜、北九州、長野、仙台、台湾などに長期滞在し演劇創作を行う。2014年より『戯曲公開プロジェクト』を開始、戯曲を無料公開し多くの上演機会を設けている。多摩美術大学専任講師。



実施内容

子どもたちと一緒にシアターゲームなどのコミュニケーションを重ねて、身体を使った表現や台本づくりなどを経ながら、演劇を創作・発表するワークショップです。また創作・発表のみではなく、作品を鑑賞するという経験も重要視します。鑑賞と創作・発表を繰り返す中で、自分のアイデアを他者に提案すること、他者の意見を自分に取り入れること、個人ではなく集団で何かをつくることを体験します。

実施条件

- 時期：要相談
- 期間：延べ3日～7日間程度
- 対象：小学生又は中学生
- 人数：10～20名程



こども
アート
体験
事業

■ 加賀城 匡貴 (アーティスト・絵本作家)

1975年、北海道生まれ。英ボーンマス芸術大学中退。99年に「笑い」をテーマにしたステージパフォーマンス『スケルツォ』をスタート。公演/展覧会やワークショップなど、独自の活動を続けている。企画・原案を手がけたNHK Eテレ『ミ・タ・テ』で、札幌ADC準グランプリ、東京TDC賞ノミネート。著書に、学校図書『脳トレ！パズとブック』（教育画劇）、絵本『ねぐせきょうだい』（中西出版）。

実施内容

「見立て」をテーマにした作品制作ワークショップ
「見立て」とは、身の回りのものを別の見方で、人の顔や動物、風景はたまた奇想天外な何かに見ることです。子どもたちは会場内（学校であれば、教室や廊下、グラウンドなど）や周辺地域にある様々なもの・ことを見立てて、作品を制作していきます。会場があつという間に美術館に変わっていきます。最終的には期間限定で、地域住民を含む多くの人たちが訪れる一般公開を目指します。

実施条件

- 時期：要相談
- 期間：延べ10日間程度
- 対象：小学生
- 人数：制限なし



文化交流事業【助成事業】

■ 発信交流事業

道内において、音楽、演劇、美術、舞踊等の芸術分野で活動している地域文化団体等が、道外又は海外において交流を行う事業に対して助成します。

事業例

- 国内発信
〔板橋ビューネ 2023/2024〕
〔北海道×九州 文化芸術交流〕
- 海外発信
〔第14回光州ピエンナーレ マユンキキ「Shikuma」
〔境界〕 アーティストトーク&音楽パフォーマンス〕

対象団体

- 地域文化団体（過去3年以上継続的な活動を行っており、規約等を有する団体）
- 市町村
- 市町村教育委員会
- 実行委員会
- 公立文化施設の管理・運営団体 等

助成金の額

- 助成対象経費の2分の1以内の額（上限額 国内：50万円、海外：100万円）
【算出例①】

収入		支出	
自己財源	30万円	対象経費	100万円
入場料 他	30万円	対象外経費	10万円
助成金	50万円		
合計	110万円	合計	110万円

計算式：対象経費100万円×1/2＝50万円以内の額

【算出例②】（使途が特定された助成金等がある場合）

収入		支出	
自己財源	60万円	対象経費	250万円
入場料 他	60万円	対象外経費	20万円
使途特定の助成金	50万円		
助成金	100万円		
合計	270万円	合計	270万円

計算式：対象経費250万円－使途特定の助成金50万円＝200万円
200万円×1/2＝100万円以内の額

その他

- 芸術文化振興基金や文化庁等の補助・助成事業等を申請する場合は、必ず事前にお知らせください。
- 企画会社等からの買い取り公演や単なる招へい公演、展示のみの招へいは対象になりません。

■ 招へい交流事業

道外又は海外において音楽、演劇、美術、舞踊等の芸術分野で活動している文化団体等を招へいして、道内の地域文化団体等と交流を行う事業に対して助成します。

事業例

- 国内招へい
〔北海道劇作家＋ニットキャップシアター交流公演〕
〔INDEPENDENT: SPR23〕
- 海外招へい
〔北海道＋スウェーデンアート '23〕
〔第73回市民文化祭 室蘭音楽協会市民オーケストラ演奏会〕

◆ 応募から結果通知までの流れ

1 提出書類

(1) 事業計画書

当財団のホームページ内に掲載している「令和6年度事業募集」のページからダウンロードして作成してください。〈<http://haf.jp/>〉

(2) 定款または団体規約

(3) 役員名簿

(4) 参考資料（企画書、過去事業のチラシ等）

※申請者が市町村、市町村教育委員会の場合、(2)～(4)は提出不要です。

2 提出期限

令和6年1月31日（水）必着

3 提出方法および提出先

期限までにメールで送付してください。郵送・FAXによる提出は受け付けておりません

メールアドレス：**keikaku@haf.jp**

4 結果通知

当財団に設置した専門委員会への付議および理事会での決定後、**令和6年4月上旬**に結果を文書で通知します。

5 留意事項

- 当財団の共催負担金／助成金と、北海道や北海道教育委員会からの補助金／交付金等を重複して受け取ることはできません。
- 当財団のホームページにある該当事業の共催・助成要綱を必ずお読みください。
- 提出後、内容確認のため財団の担当者から連絡する場合があります。
- 採択された事業の内容については、ホームページ等において公開します。

◆ 問合せ先

公益財団法人北海道文化財団

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル3F

TEL 011-272-0501

メールアドレス：**keikaku@haf.jp**

公益財団法人 北海道文化財団

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル 3階

TEL 011-272-0501 FAX 011-272-0400